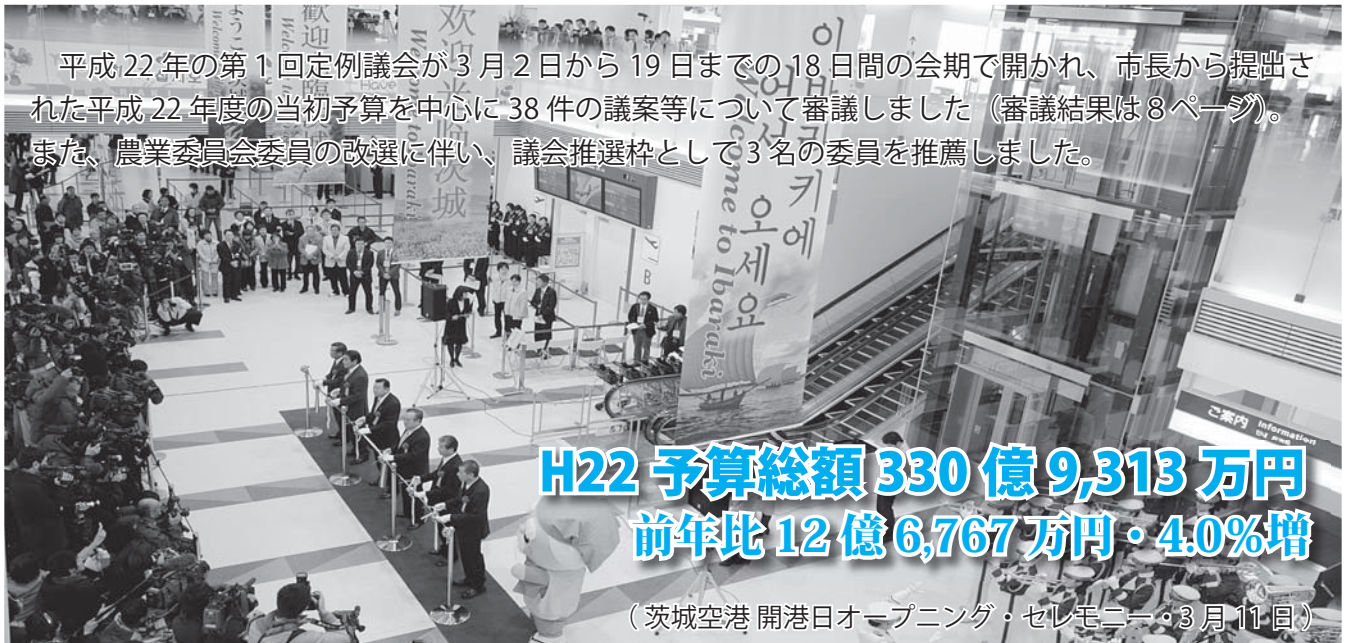


# 平成22年第1回定例議会

## 平成22年度当初予算を含む38議案等を審議



平成22年の第1回定例議会が3月2日から19日までの18日間の会期で開かれ、市長から提出された平成22年度の当初予算を中心に38件の議案等について審議しました（審議結果は8ページ）。また、農業委員会委員の改選に伴い、議会推選枠として3名の委員を推薦しました。

**H22 予算総額 330 億 9,313 万円**  
**前年比 12 億 6,767 万円・4.0%増**

（茨城空港 開港日オープニング・セレモニー・3月11日）

**一般会計は 前年比3億790万円・1.7%増も**  
**実質「子ども手当経費」を除くと1.8%減**

### 一般会計 歳入（収入）主な内訳

財源別	予算額		前年度比較		
	金額	構成	金額	率	増減
自主財源	71億 3,529	37.7	5,787	0.8	↓
市 税	59億 3,290	31.3	1億 1,338	1.9	↓
依存財源	117億 9,410	62.3	3億 6,577	3.2	↑
地方交付税	44億 1,920	23.4	6億 720	15.9	↑
国県支出金	40億 9,784	21.7	10億 3,115	33.6	↑
市 債	19億 3,410	10.2	11億 4,400	37.2	↓
地方譲与税	3億 2,720	1.7	1,910	5.5	↓
交付金	10億 1,576	5.4	1億 948	9.7	↓

### 一般会計 歳出（支出）主な内訳

性質別	予算額		前年度比較		
	金額	構成	金額	率	増減
義務的経費	91億 6,515	48.4	6億 7,950	8.0	↑
人件費	41億 8,162	22.1	1億 4,997	3.5	↓
扶助費	33億 5,664	17.7	8億 4,226	33.5	↑
公債費	16億 2,689	8.6	1,281	0.8	↓
投資的経費	30億 889	15.9	8億 484	21.1	↓
普通建設費	30億 889	15.9	8億 484	21.1	↓
その他経費	67億 5,534	35.7	4億 3,324	6.9	↑
物件費	22億 2,515	11.8	2億 4,186	12.2	↑
補助費等	21億 4,450	11.3	8,465	3.8	↓
操出金	22億 1,456	11.7	2億 8,996	15.1	↑

### 平成22年度当初予算（全11会計）

会計別	予算額	前年度比較					
		額	率	増減			
一般会計	189億 2,940	3億 790	1.7	↑			
特別会計	国民健康保険（事業）	58億 906	4億 148	7.4	↑		
	国民健康保険（直診）	1億 9,457	239	1.2	↑		
	老人保健	357	187	110.0	↑		
	後期高齢者医療保険	3億 6,165	501	1.4	↑		
	介護保険（事業）	27億 2,425	1億 5,997	6.2	↑		
	介護保険（サービス）	251	3	1.3	↓		
	下水道	18億 4,073	2億 1,018	10.2	↓		
	農業集落排水	6億 2,848	8,421	15.5	↑		
	戸別浄化槽	6,924	508	7.9	↑		
	霊園	1,576	8	0.5	↑		
企業会計	水道	収益	収入	7億 9,568	2,060	2.7	↑
		支出	7億 7,120	4,464	6.1	↑	
	資本	収入	11億 2,783	5億 459	81.0	↑	
		支出	14億 2,861	4億 7,709	50.1	↑	
	病院	収益	収入	3億 941	852	2.7	↓
		支出	2億 6,962	2,294	7.8	↓	
	資本	収入	—	—	—	—	
		支出	4,439	105	2.4	↑	
歳入（収入）計	328億 1,222	12億 7,448	4.0	↑			
歳出（支出）計	330億 9,313	12億 5,767	4.0	↑			

（単位：万円・%、比較増減率：小数点第2位を四捨五入）

特別委員会？・・・常設の委員会ではなく、特定の事柄を審査するため、必要に応じて本会議での議決を得て時限的に設置する委員会。これまで本市議会では議員定数、政治倫理を調査検討する委員会を設置している。

選挙費用の公費負担?・・・公職選挙法や規定した条例に基づき、選挙カーのレンタル料やガソリン代、ポスター製作費用などの選挙活動費用について、国や自治体がその一部を負担する制度。

## 予算特別委員会を設置 H22 当初予算を審査



新年度（平成 22 年度）の当初予算（全 11 会計）を審査するため、今回から全議員 24 人で構成する「予算特別委員会」を設置し、8・9 日の 2 日間にかけて審査しました。委員会での主な質疑応答の内容についてお知らせします。

### 市政全般・消防

**Q** 市が保有する未利用地の活用策は？

**A** 旧中延住宅の跡地については、21 年度に評価を実施し、22 年度中に競売を予定している。

**Q** 固定資産、土地評価の鑑定業務委託の内容は？

**A** 土地の評価替えは 3 年に一度、土地利用状況等の変化を踏まえて単価を出している。22 年度は 24 年度の評価替えに向けて、その準備作業を進める。

**Q** 公債費の見込額が前年度より上昇しているが、実質公債費比率は？

**A** 現段階での算定は難しい。ボーダーラインの 18% を超えないよう配慮する。

**Q** 公職選挙法に規定され、選挙経費の公費負担が可能だが、今後、導入の検討は？

**A** 導入には条例改正が必要となる。4 月の市長選での適用はないが、次回の市議選に向けて検討する。



22 年度 当初予算には設計調査委託料 7 千万円が計上。23 年度内の事業完了を目指す（仮称）スポーツシューレ公園。（事業予定地の先後地内の八幡池）

**Q** 仮称スポーツシューレ公園の設計調査の内容は？

**A** 基本計画に基づいた整備計画が出来上がるので、土地の造成や芝張り、管理棟や倉庫、屋外トイレなどの設計業務を進めていく。

**Q** 各総合支所内の銀行派出所の利用状況について、経費負担を踏まえたい点検は？

**A** 合併協議の際、総合支所の利便性や住民サービスの継続を前提としたことから、合併以降も旧町村時と同様に実施してきた。今後は、利用状況等も勘案しながら検討課題としていきたい。



バス専用道化のため舗装された、かしてつ跡地。22 年度は当初整備区間から外れた旧四箇村駅から常陸小川駅までの測量、常陸小川駅をターミナル活用するための基本計画の策定や必要用地の取得も予定（栗又四箇 地内）

**Q** 4 月から消防団が統合するが、備品や消防施設の扱いは？

**A** 消防団の統合に合わせて、運営形態や備品の扱いなどを統一している。また、旧町村により管理主体が異なっていた火の見やぐらや貯水池の撤去等についても、2 年前から市で予算化し対応している。

**Q** 公共交通ネットワークの検討状況は？

**A** 20 年度に実施した市民生活交通動向調査の結果や、かしてつ跡地バス専用道化事業が具体化していること等を踏まえ、今後、公共交通システムのある方、市が取り組む施策等について幅広く検討する。

**Q** 関係者と具体的な協議・検討を進め、早期に実現させるべき。

茨城県内。パスポート窓口?・・・旅券法改正により市町村での旅券事務が可能となった。本市でも平成21年6月からパスポート窓口が開設。各市町村への事務移行に伴い各地区のパスポートセンターは順次廃止されている。

## 教育・福祉・医療

**Q** 学力向上支援の内容は?

**A** 市内の全中学校に学力向上支援員を配置し、学習上の弱点克服を図るもの。21年度までは中学校のみを対象にしていたが、本年度から小学校での活用も図り、より早い段階でつまづきを失くしていきたい。

**Q** 22年度に耐震化を進める学校は?

**A** 耐震診断の結果を踏まえ、堅倉小・小川北中の校舎の改築を実施する。また、小川南中の校舎、美野里中・上吉影小・納場小の体育館、羽鳥小の校舎・体育館の耐震補強を進める。



22年度当初予算に小中学校建設費6億7,000万円を計上。国施策の後押しを受け学校耐震化を推進する(H22-23継続事業として校舎改築を行う堅倉小学校)

**Q** 子ども手当で経費9億7682万円の概要は?

**A** 国の施策転換により、現行の児童手当に変わる新しい子育て支援事業として、平成22年4月分から支給される。

**Q** その内容と市内の対象者は?

**A** 中学校卒業までの子どもを持つ親に対して、子ども1人につき毎月1万3千円を支給する。市内の対象者は約7500人。

**Q** 支給時期は?

**A** 6月に4・5月分を、その後、4ヶ月分をまとめて、10月、2月にそれぞれ支給する。

**Q** 民間保育所補助事業の内容は?

**A** 通常保育以外の多種多様な保育サービスを実施する民間の保育所に対して、国・県・市から事業費の一部を助成している。

**Q** 具体的な対象サービスは?

**A** 延長保育、病児・病後児保育、一時・休日保育、低年齢児保育従事者の増員など。補助対象となる事業が増えたことで、新年度の予算は大幅増となっている。



21年度に続き地域医療確保事業費500万円を計上。昨年3月に締結した協定に基づき大学の寄付講座が開設され、23年度まで東京医科大学から医師派遣を受ける

**Q** 医療センターに東京医大から派遣される医師の数と診療科目は?

**A** 週に4日、計7人の医師が派遣されている。診療科目は内科、消化器外科、乳腺科、整形外科。

**Q** 患者は同じ医師に診てもらいたい。同じ医師が継続して派遣されるよう要望する。

**Q** 難病患者見舞金の増加要因は?

**A** 対象疾病数の増加、また、周知による効果と考えている。

**Q** 難病患者の登録者数と見舞金申請者との差は?

**A** 21年4月現在の登録者は203名、21年度の申請者は143名。

**Q** 申請主義ではない対応を。

**A** 保健所が保有する登録者リストは得られないため、市での申請の際や市報等で広く周知していく。

## 市民生活・産業経済

**Q** 観光協会に支出する観光業務委託料850万円の内容は?

**A** 内訳は職員の人件費が600万円、また、今年度は観光パンフを1万部作成する経費として210万円、茨城空港をPRする観光グッズの商品開発費として40万円となっている。

**Q** 人件費の内容は?

**A** 茨城空港の2階に商工会のテナントとして「スカイアリーナ」を設置している、そこで市の観光案内を行う2名の職員に対するもの。



空港旅客ターミナルビル内の2階に設置される「スカイアリーナ」。銚田・行方両市商工会とともに地元特産品の販売や周辺の観光案内を行う

農業集落排水事業?・・・農業振興地域における、し尿・生活雑排水などの汚水等を処理する施設を整備する事業。市内では9地区・1万4千人を対象に計画され、このうち、現在までに3地区で供用される。

**Q** コミュニティ活動の推進は?

**A** まちづくり組織に助成金を支出し、各地区コミュニティ活動の支援充実を図っている。また、新規地区での設立に向けて、各地区の方々と協議・検討している。

**Q** パスポートの発行件数は?

**A** 平成22年2月末現在、1039件の申請があったが、このうち964件を交付している。また、この内訳は10年用が559件、5年用が353件、子ども用が52件となっている。

**Q** 消費生活センターの相談件数は?

**A** 11月の開設から22年2月末までの相談件数は43件、このうち電話からが29件、直接が14名。主な相談内容は、契約、金融、商品トラブルなど多岐にわたる。

**Q** 難しい相談事案への対応は?

**A** 資格を有する相談員が対応にあたっている。相談内容が複雑多様化しており、年6回弁護士から具体的なアドバイスをいただくため、委託料を計上している。引き続き、県の消費生活センターと連携を図っていく。

## 都市建設・水道

**Q** 合併特例債を活用する広域幹線道路整備費4億3千万円の内容は?

**A** 羽鳥宿張星線の東・西ルート、栗又四箇線、田木谷上玉里線の4路線についての工事費、委託料、補償費等を計上している。

**Q** 住宅施設維持管理経費の主な内容は?

**A** 老朽化の激しい野田住宅を用途廃止し、その解体撤去・整地工事を行うため、2420万円を計上している。

**Q** 野田住宅の入居者は?

**A** 現在、全部で15棟ある。5月中には退去手続きが完了する予定。

**Q** 羽鳥駅周辺整備等の内容は?

**A** 東口敷地整備工事120万円は、駅東口の空き地5千㎡について、地域で活用できるよう暫定的な整地を行う。また、周辺整備計画250万円は、マスタープラン等で示される整備方針に基づき具体的な整備内容を計画する。

**Q** かつてつ跡地バス専用道路事業費5300万円の内容は?

**A** 四箇村駅から常陸小川駅までの測量と、常陸小川駅構内をターミナル的に整備するための基本計画の策定と必要な用地を取得する。

**Q** 農業集落排水事業納場南部地区の見通しは?

**A** 22年度に概略設計を行い、調査や経済比較、処理場の予定地等を設定する。23年度から事業着手できるように引き続き県に要望していく。

**Q** 接続率向上の対策は?

**A** 維持管理組合と対応を協議し、合同でも戸別訪問を行っている。

**Q** 戸別浄化槽の設置件数は?

**A** 20年度から新規事業として行っているが、初年度は28件、平成21年度は30件を設置している。

**Q** 戸別浄化槽事業の対象エリアは?

**A** 公共下水道の認可区域外、また農業集落排水事業の実施区域外を対象としている。

**Q** 22年度から実施する水道業務委託料4200万円の内容は?

**A** 水道メーターの検針、水道料金の収納、窓口業務が主なもの。

**Q** 石綿セメント水道管の残延長は?

**A** 事業開始当初は約140kmあったが、基本計画に基づき1年あたり約8km更新し、現在の残延長は約70kmとなっている。

**Q** 小川温泉寿荘の建替えは?

**A** 現在、設計を進めており、22年度内には建築に着手する。昨年購入した土地に新設し、現在の施設は解体する。



建築から約40年を経過し、22年度、中延住宅に続き、用途廃止される「野田住宅」。セーフティーネットの確保とともに人口減少社会下における効果・効率的な住宅施策が求められる



空港開港に伴うバイパス整備によりアクセスも向上。平成23年度内の事業完了を目指し、本年度は工事費1億7,500万円を計上（小川温泉寿荘・上吉影地内）